



源氏は、
「こんなことを聞いたの
でおもしろく思わない
んだね。でもこの扇が
私の興味をひくのだ。
この辺のことに詳しい
人を呼んで聞いてござら
ん」
と言った。はいって行
つて隣の番人と逢つて
来た惟光は、
「地方方の介の名だけ
をいただいている人の
家でございました。」

■ 参考

※介【すけ】

(青空文庫のフリガナより)